

# Neuroscience 2009

## 第 32 回日本神経科学大会

### 演題募集要領 参加登録要領

演題応募登録	開始	2009 年 2 月 3 日 (火)	9:00
	締切	2009 年 4 月 15 日 (水)	12:00
事前参加登録	開始	2009 年 2 月 3 日 (火)	9:00
	締切	2009 年 7 月 23 日 (木)	12:00

会 期:2009 年 9 月 16 日(水)~18 日(金)

会 場:名古屋国際会議場

〒456-0036 名古屋市熱田区熱田西町1番1号

この大会は、各種学会の専門医・認定医、及び研修認定薬剤師の  
研修単位制度のポイント取得対象学会として認定されています  
(詳細は本要領の4ページをご覧ください)

第 32 回日本神経科学大会  
大会長 伊佐 正  
(自然科学研究機構生理学研究所 教授)

## 開 催 概 要

会 期 : 2009年9月16日(水)~18日(金)  
会 場 : 名古屋国際会議場  
〒456-0036 名古屋市熱田区熱田西町1番1号  
TEL : 052-683-7711  
大 会 長 : 伊佐 正(自然科学研究機構生理学研究所 教授)  
大会事務局 : 第32回日本神経科学大会 大会事務局  
〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-13 栄第一生命ビルディング 8F  
株式会社コングレ内(担当:塚本、船井、北角)  
TEL : 052-950-3369 FAX : 052-950-3370  
E-mail : neuroscience2009@jnss.org  
大会ホームページ : <http://www.jnss.org/neurosci2009/>

## ご 挨拶

2009年の第32回の日本神経科学大会の大会長を仰せつかりました。大会を企画させていただくにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

昨今の神経科学の発展には目覚ましいものがあります。1980年代から90年代にかけては脳・神経系で働く様々な分子の構造が明らかにされ、分子・細胞レベルでの機能の理解が爆発的に進みました。そして21世紀に入った現在、分子を基盤とする神経科学研究の多くが、これら機能分子の個体レベルでの機能の解明を目指すようになってきています。また、システムとしての脳機能を扱う研究分野においても様々なパラダイムの展開や機能的MRIなどの非侵襲的脳活動イメージング法などの実験技術の発展に伴い、記憶、言語、注意、情動、意思決定、意識など、かつては還元論的科学的アプローチが困難であった高次脳機能を対象とする研究が進められています。こうして分子・細胞・神経回路から個体に至る様々な階層での研究が統合され、今まさしく「こころ」が「物質である脳」にどのようにして宿っているのかが平易なサイエンスの言葉で語られる時代に入りつつあると言っても過言ではありません。

このような発展の背景には、脳や神経細胞の構造と機能の様々なイメージング技術を可能にした工学やケミカルバイオロジーなどの技術開発とともに、従来の学問体系を超えて、人文・社会科学など、これまで神経科学とはやや離れたところにあった学問分野との積極的な融合・連携が進んできていることがあると思います。これは神経科学が究極には「人間」の理解を目指す科学であることを考えれば自然の成り行きであり、この潮流は今後一層加速することになると思います。一方で、神経科学のより応用的な側面が広がり、社会との接点が増えてくるに従って、従来とは異なる様々な倫理的な問題の存在が顕在化してきています。そのひとつは、これまで直接観察することのできなかつた個々人の「こころの中」が計測できるようになってしまうこと、さらにはその操作が可能になることに伴う脳神経倫理の問題であり、もうひとつは「脳科学」の名を借りて様々な疑似科学が喧伝され、社会に対して影響力をもってしまうという情報発信に関わる倫理の問題です。いずれも今後神経科学が社会に健全な貢献をしつつ発展していくためには十分な注意を必要とする問題です。2009年の大会では、神経科学の先端的研究、そして様々な異分野との連携・融合的研究を一層推し進めるとともに、「社会とともに歩む神経科学」というメッセージを広く研究者コミュニティと社会に伝える機会としたいと考えています。

第32回日本神経科学大会  
大会長 伊佐 正  
(自然科学研究機構生理学研究所 教授)

## 参加登録要領

### 1. 参加登録費

参加カテゴリー／その他	事前参加登録 (2009年2月3日～7月23日)	当日登録
一般(会員)	13,000 円	17,000 円
一般(非会員)	15,000 円	19,000 円
大学院生(会員) ※1	1,000 円	2,000 円
大学院生(非会員) ※1	3,000 円	4,000 円
学部学生(会員／非会員) ※2	(筆頭演者の学部学生:1,000 円)	無料
Neurosci.Res.掲載費 ※3	4,000 円	—
懇親会／一般 ※4	3,000 円	5,000 円
懇親会／大学院生 ※4	2,000 円	3,000 円
懇親会／学部学生 ※4	1,500 円	2,000 円

- ◎ 大会への参加カテゴリーは、大会開催時(2009年9月16日～18日)の身分に該当するものを選択してください。
- ◎ 研究成果発表のための大会参加費は、科学研究費補助金などによる支払いが可能な場合があります。手続きについては、所属機関の事務担当者にご確認ください。

#### ※1 大学院生参加者の方へ

- ・ 会員の方は、参加登録画面にて会員番号を入力してください。
- ・ 非会員の方は、事前参加登録時の登録完了画面に表示されます“学生証確認用紙”をプリントアウトし、学生証のコピーを貼付のうえ、大会事務局までFAX【052-950-3370】を送信ください。
- ・ 当日登録の方は、受付にて学生証を提示してください。

#### ※2 学部学生の参加費について

筆頭著者として発表を行わない学部学生の参加費は無料ですので、事前参加登録は不要です。大会当日参加受付にて学生証を提示のうえ、参加証をお受け取りください。筆頭著者として発表を行う学部学生の方は、必ず事前参加登録を行い、参加登録費1,000円をお支払いください。

#### ※3 Neurosci.Res.掲載費について

演題登録された方の英文抄録は Neuroscience Research(Elsevier)のSupplementに掲載されます。筆頭著者は掲載費として4,000円をお支払いください。事前参加登録の際、自動的にNeuroscience Research Supplement掲載費も請求されますので、参加登録費と一緒に入金してください。Neuroscience Research Supplementは、大会終了後、筆頭著者の連絡先として登録されている住所宛てに郵送いたします。筆頭著者以外で、Neuroscience Research Supplementを購入ご希望の方は、大会会場にてお申し込みください(4,000円)。後日郵送いたします。

#### ※ 4 懇親会(NeuroSocial)について

開催予定日： 2009年9月17日(木) 大会2日目

午後7時頃から(時間帯は変更される可能性があります)

今大会の懇親会は、先端で活躍されている研究者、およびこれからそれぞれの分野で活躍しようとする若手研究者(学部学生・院生・ポスドク含む)が集い、飲み物を片手に自由に交流できる会として開催します。プレナリー講演や特別講演、シンポジウムの演者の先生方にも参加を呼びかけますので、著名な研究者との会話のチャンスでもあります。多くの皆様の参加をお待ちしています。なお、できるだけ事前にお申し込みください。

## 2. 事前参加登録

当日参加登録には待ち時間がかかることがあります。待ち時間を避けるために便利なオンライン事前参加登録をご利用ください。また、事前参加登録では参加費も割引されます。

登録開始 : 2009年 2月 3日(火) 9:00 登録締切 : 2009年 7月23日(木) 12:00
---

※ 演題応募登録締切;2009年4月15日(水)とは異なりますのでご注意ください。

### 【事前参加登録方法】

以下の大会ホームページ上で登録をお願いいたします。

<http://www.jnss.org/neurosci2009/>

- 事前参加登録費のお支払いには、銀行振込み、郵便振替、コンビニ払い、クレジットカード払いが使用できます。(手続き手順の概略は、11ページのフローチャートをご参照ください。)
- 事前参加登録が完了すると参加登録IDとパスワードが発行されます。登録した内容を確認・修正する際に必要になります。必ず大切に保管してください。
- 演題登録手続きには、事前参加登録が必要です。演題登録時に参加登録IDとパスワードが要求されますので、演題登録の前にあらかじめ事前参加登録をして、参加登録IDとパスワードを取得してください。
- 使用できるブラウザは、WindowsはNetscape 6.0 以上、Internet Explorer 5.5 以上、MacintoshはMacOS Xを使用している場合、Safari 1.2 以上、Netscape 6.0 以上、MacOS9.2までを使用している場合、Netscape 6.0 以上、Internet Explorer 5.0 以上となります。
- 会員の方は会員番号を入力してください。会員番号は、「神経科学ニュース」、「演題募集要領・参加登録要領」郵送時の宛名ラベルに記載された、090で始まる10桁の番号です。大会案内メールマガジン(Neuroscience2009 E-Newsletter)の冒頭部にも記載されています。
- 現在入会申請中の方で演題登録される方は、「入会申請中」を選択し、会員番号欄は空欄にしてください。また、非会員シンポジストの方は「非会員シンポジスト」を選択し、会員番号欄は空欄にてお手続きください。
- 事前参加登録時に、会員／非会員、一般／大学院生、懇親会(NeuroSocial)参加の有無、演題登録の有無等を入力すると、自動的に必要金額の合計が計算されます。決済方法(郵便、銀行、コンビニエンスストア、クレジットカード)の登録完了後、事務局より登録内容確認のメールを送信いたします。各決済方法に応じて、参加登録費をお支払いください。
- 参加登録費領収書について、指定の書式での領収書が必要な方は大会事務局までご連絡ください。

## 3. 参加証・プログラム・抄録集配布方法

- ・ 事前参加登録者には、大会開催前(8月下旬発送予定)に、大会参加に関するご案内、プログラムを参加登録時に連絡先として登録された住所宛てに郵送いたします。
- ・ 筆頭著者として演題登録をした(抄録掲載費を支払った)方には、上記に加え、大会終了後に英文抄録集(Neuroscience Research Supplement)を郵送いたします。9月下旬から10月上旬発送予定です。
- ・ 当日参加登録の場合は、受付で参加費の支払いをする際に、参加証(ネームカード)、参加登録費領収書、プログラムをお受け取り下さい。
- ・ Neuroscience Research Supplement は、大会当日に購入申し込みができます(4,000円)。9月下旬から10月上旬頃にお届けいたします。

#### 4. 学会入会について

- ・ 会員の方は、事前参加、当日参加ともに、参加登録費が割引になります。非会員の方もこの機会に、是非ご入会ください。
- ・ 筆頭発表者は日本神経科学学会の会員でなければなりません。演題登録に際して会員番号が必要となります(「神経科学ニュース」や「演題募集要領・参加登録要領」郵送時の宛名ラベル、または大会案内メールマガジン(Neuroscience2009 E-Newsletter)の冒頭部に記載されている090で始まる10桁の番号)。発表を予定されている筆頭発表者で非会員の方は、速やかに以下の連絡先にて入会申し込み手続きを行ってください。入会方法の詳細については、日本神経科学学会のホームページをご参照ください。
- ・ 入会申請から会員番号の発行までには一週間ほどかかる場合があります。時間に余裕をもって入会手続きをしてください。

#### 【学会入会申込連絡先】

日本神経科学学会 事務局  
TEL:03-3813-0272 / FAX:03-3813-0296  
E-mail : office@jnss.org  
学会 URL : <http://www.jnss.org/indexj.html>

#### 5. お子様をお連れの参加者の方へ

本大会では、『託児室』と『親子休憩室』を設置いたします。『託児室』には保育スタッフが常駐し、保護者の方が大会に参加される間、お子様をお預かりいたします。ご利用には事前予約が必要です。『親子休憩室』は、お子様と一緒に食事や休憩を取りたい方が無料で自由にご利用いただけます。ご利用の際は、必ず保護者の方がご同伴ください。

※ 詳細につきましては、大会ホームページをご参照ください。

#### 6. 専門医・認定医、研修認定薬剤師の研修単位について

本大会への参加は、下記学会の専門医・認定医、及び研修認定薬剤師の研修単位取得の対象となります。専門医・認定医の先生方はぜひご利用ください。詳細についてはそれぞれの学会または日本薬剤師研修センターにお問い合わせください。

- ◆ 日本神経学会
- ◆ 日本精神神経学会
- ◆ 日本小児神経学会
- ◆ 日本老年精神医学会
- ◆ 日本良導絡自律神経学会

#### 7. その他

お支払いいただいた事前登録費は、理由の如何に関わらず返金できません。二重登録にご注意ください。

#### 【参加登録についてのお問い合わせ先】

第32回日本神経科学大会 大会事務局 事前参加登録お問合せ窓口  
担当：塚本、船井、加藤  
〒460-0004 名古屋市中区新栄町 2-13 栄第一生命ビルディング 8F  
株式会社コングレ中部支社内  
TEL : 052-950-3369 FAX : 052-950-3370  
E-mail : [regist-neurosci32@congre.co.jp](mailto:regist-neurosci32@congre.co.jp) (参加登録お問合せ専用)

---

---

## 演題募集要領

---

---

一般演題(口演・ポスター)を公募いたします。演題応募手続きは、インターネットによるオンラインでの受付のみとします。下記 URL にアクセスしてください。

### 大会ホームページ:

<http://www.jnss.org/neurosci2009/>

(手続きの概要はフローチャートをご参照ください。)

※ 演題応募手続きの前に、事前参加登録をしておく必要があります。

※ 非会員シンポジスト等の招待演者の方も、ホームページ上で事前参加登録および演題登録をする必要があります。

### 募集期間:

演題募集開始: 2009年2月3日(火) 9:00

演題募集締切: 2009年4月15日(水) 12:00

※ 演題募集締切は、事前参加登録締切(2009年7月23日)より締切が早くなっております。お間違いないようご注意ください。

### 応募資格:

- 日本神経科学大会は、日本神経科学学会の会員が研究発表を行うための場です。そのため筆頭発表者は日本神経科学学会の会員でなければなりません(非会員シンポジスト等の招待演者を除く)。非会員の方は、速やかに入会手続きを行ってください。プログラム決定時期までに入会手続きが完了していない場合は、演題を取り消すことがあります。また会員であっても、年会費に滞納がある場合には、同様に演題を取り消すことがありますので、年会費の納め忘れにご注意ください。
- 筆頭著者としての応募は、シンポジウムを含めて1名につき1題に限られます。ただし、プレナリーレクチャー、特別講演、受賞講演等はこの限りではありません。
- 筆頭著者は、発表者としてください。

### 使用言語:

- 抄録本文は英語で受け付けます。発表演題申込みの際には抄録は英文で作成してください。ただし、演題名、演者名、所属は、和文・英文の両方をご用意ください。
- プレナリー講演、特別講演、受賞講演、シンポジウムは英語での発表となります。ただし質疑応答は日本語も可とします。
- 一般演題の口演発表も例外を除き、基本的に英語といたします(大会の国際化の立場から英語での発表を強く推奨いたします)。ただし質疑応答は日本語も可とします。

### 発表形式:

一般演題は、口演発表またはポスター発表のどちらを希望されるかお選びください。どちらの形式でご発表いただくかの最終的決定は、プログラム委員会にご一任ください。発表形式は、演題採否結果および発表日時の通知の際に合わせてお知らせいたします。必ずしも当初のご希望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

#### (1) 口演発表

- 発表言語は基本的に英語といたします。(上記「使用言語」の項目を参照。)
- 発表時間は、討論を含めて15分を予定しています。応募演題数などにより変更になる場合もあります。

- 発表用機材は、PC 用プロジェクターのみを用意します。各自発表用 PC をご持参ください。  
D-sub15 ピンコネクタに直接接続できない場合は、必ずご自身でアダプターをご準備ください。



D-sub 15 pin connector

## (2) ポスター発表

- ポスターの原稿は、すべて英語で作成してください。ただし可能であれば日本語のサマリーも添えていただきますようお願いいたします。
- ポスターのサイズ等につきましては、決定次第大会ホームページにてご案内いたします。

## 演題採否:

演題の採否結果、ならびに発表日時・形式・会場等については、メールにて通知をいたします。演題の採否につきましてはプログラム委員会にご一任願います。

## 応募方法:

1. 大会ホームページにアクセスし、事前参加登録をしてください(本要領3ページ「事前参加登録要領」参照)。その際、「演題登録をする」を選択し、事前参加登録費とともに抄録掲載費をお支払いください。
  - 現在入会申請中で演題登録される方は、「入会申請中」を選択し、会員番号欄は空欄にしてください。
  - 非会員シンポジストの方は「非会員シンポジスト」を選択し、会員番号欄は空欄にてお手続きください。
  - 事前参加登録が完了すると、参加登録 ID とパスワードが発行されます。登録した内容を確認・修正する際に必要になります。大切に保管してください。13 ページの「個人登録確認シート」をご利用ください。
2. 事前参加登録が完了すると、完了画面に「続けて演題登録をする」というボタンが表示されます。このボタンをクリックして演題登録画面 (UMIN) に進んでください。
  - 事前参加登録の完了後、演題登録へ進まずに参加登録画面を閉じてしまった場合、または演題登録画面 (UMIN) にて演題登録を完了せず中断してしまった場合は、「参加登録のご案内」の画面内にある「事前参加登録後の内容確認・修正」ボタンからログインし、「演題登録 (UMIN) に進む」ボタンをクリックしてください。尚、ログインには参加登録 ID とパスワードが必要になります。
3. 演題登録画面 (UMIN) の指示に従い、必要事項を入力してください。
  - 演題登録が完了すると、自動発行された演題登録番号と、自分で設定したパスワードが表示されます。演題登録番号とパスワードは、演題の修正、事務局への問い合わせ等の際に必要です。このページをプリントアウトして保存するなどして、必ず保管してください。
  - 演題登録後、UMIN センターより演題受付のメールが自動送信されます。60 分以内にメールが届かない場合は、演題が受付されていない可能性がありますので、確認後、再度登録をお願いします。

## 演題登録後の確認・修正:

- 演題登録受付期間中に限り、抄録の変更が可能です。「演題登録のご案内」画面中にある「演題登録後の確認・修正・削除」ボタンをクリックし、演題登録番号とパスワードを用いてログインしてください。
- 演題登録受付期間終了後は、英文抄録原稿・著者(筆頭著者、共著者)・所属の全ての事項において、修正・変更・追加は一切できません。所属の間違いや、重要な共著者の漏れ等がないよう、十分にご確認ください。
- 演題登録後に事前参加登録の情報を修正しても、演題登録情報には反映されません。修正する必要がある場合は、必ずそれぞれを修正ください





- ・ イタリック文字:イタリック文字が必要なときは、文字の前後を<I>と</I>で囲ってください。  
(例) <I>c-fos</I> は *c-fos* となります。
- ・ 太文字:太文字が必要なときは、文字の前後を<B>と</B>で囲ってください  
(例) <B>AAA</B> は **AAA** となります。
- ・ アンダーライン:アンダーラインが必要なときは、文字の前後を<U>と</U>で囲ってください。  
(例) <U>AAA</U> は AAA となります。

【注意】書式指定用タグとの混乱を防ぐため、抄録本文内で<および>の記号を使うときは(たとえば  $p < 0.05$ 、 $CO > 2.2$  が挙げられます)、全角の<および>を使うか、または < は &lt; を、 > は &gt; を使用してください。

- ×  $p < 0.05$
- $p < 0.05$
- $p \&lt; 0.05$

### 【演題申込みに関するお問い合わせ先】

第 32 回日本神経科学大会 大会事務局 演題登録お問合せ窓口  
担当:塚本、船井、北角  
〒460-0004 名古屋市中区新栄町 2-13 栄第一生命ビルディング 8F  
株式会社コングレ中部支社内  
TEL :052-950-3369 FAX : 052-950-3370  
E-mail : abst-neurosci32@congre.co.jp(演題登録お問合せ専用)

---

---

## 演題分類項目一覧

---

---

### A. Excitable Membranes and Synaptic Transmission (興奮性膜、シナプス伝達)

1. Ion Channels and Excitable Membranes (イオンチャンネル、興奮性膜)
2. Neurotransmitters and Modulators (神経伝達物質、修飾物質)
3. Receptors and Transporters (受容体、輸送体)
4. Synapse (シナプス)
5. Synaptic Plasticity (シナプス可塑性)

### B. Cellular Neurobiology (細胞神経生物学)

6. Signal Transduction and Modulation (情報伝達、変換、修飾)
7. Axonal Transport and Cytoskeleton (軸索輸送、細胞骨格)
8. Glia and Glia-Neuron Interaction (グリア、グリア-ニューロン相互作用)
9. Blood-Brain Barrier (血液脳関門)
10. Gene Regulation, Epigenetics, Genome Informatics  
(遺伝子制御、エピジェネティクス、ゲノム情報学)
11. Regulation and Function of RNA, Translational Regulation (RNA の制御と機能、翻訳制御)
12. Drug Development (創薬)

### C. Development, Regeneration and Plasticity (発生・再生と可塑性)

13. Neural Induction, Pattern Formation, Evolution (神経誘導、パターン形成、進化)
14. Neural Stem/Progenitor Cells and Cellular Differentiation, Transplantation  
(神経幹・前駆細胞と細胞分化、移植)
15. Embryonic Stem Cells (胚性幹細胞)
16. Migration, Axonal and Dendritic Outgrowth, Network Formation  
(細胞移動、突起伸展、回路網形成)
17. Trophic Factors and Cytokines (栄養因子、サイトカイン)
18. Cell Adhesion Molecules (細胞接着因子)
19. Regeneration (再生)
20. Neuronal Death and Apoptosis (神経細胞死、アポトーシス)
21. Neural Repair and Rehabilitation (神経修復、リハビリテーション)
22. Adult Neurogenesis (成体ニューロン新生)

### D. Sensorimotor System (感覚系、運動系)

23. Somatomotor System (体性運動)
24. Oculomotor System (眼球運動)
25. Visual System (視覚)
26. Auditory and Vestibular Systems (聴覚、前庭感覚)
27. Olfaction, Taste, Chemical Senses (嗅覚、味覚、化学感覚)
28. Somatosensory System (体性感覚)
29. Viscerosensory System (内臓感覚)
30. Pain and Itch (痛覚、痒み)
31. Sensori-Motor Plasticity (感覚運動系の可塑性)
32. Brain Machine / Computer Interface (ブレイン・マシン/コンピュータ・インターフェイス)
33. Robotics (ロボティクス)

## **E. Autonomic and Endocrine Regulation (自律機能、内分泌の調節)**

34. Autonomic Nervous System (自律神経系)
35. Neuroendocrine System (神経内分泌)
36. Neuroimmunology (神経免疫)
37. Stress (ストレス)
38. Reproduction (生殖)
39. Metabolism and Regulation of Food Intake (代謝、摂食調節)

## **F. Molecular, Neural and Computational Bases of Behavior (行動の分子・神経・計算論的基盤)**

40. Instinct and Emotional Behavior (本能と情動行動)
41. Sleep and Biological Rhythms (睡眠、生体リズム)
42. Learning and Memory (学習、記憶)
43. Learning Theory (学習理論)
44. Attention and Cognition (注意と認知)
45. Development and Aging of Cognition (認知の発達と加齢変化)
46. Language and Communication (言語とコミュニケーション)
47. Social Behavior (社会的行動)

## **G. Disorders of the Nervous System (神経系の疾患)**

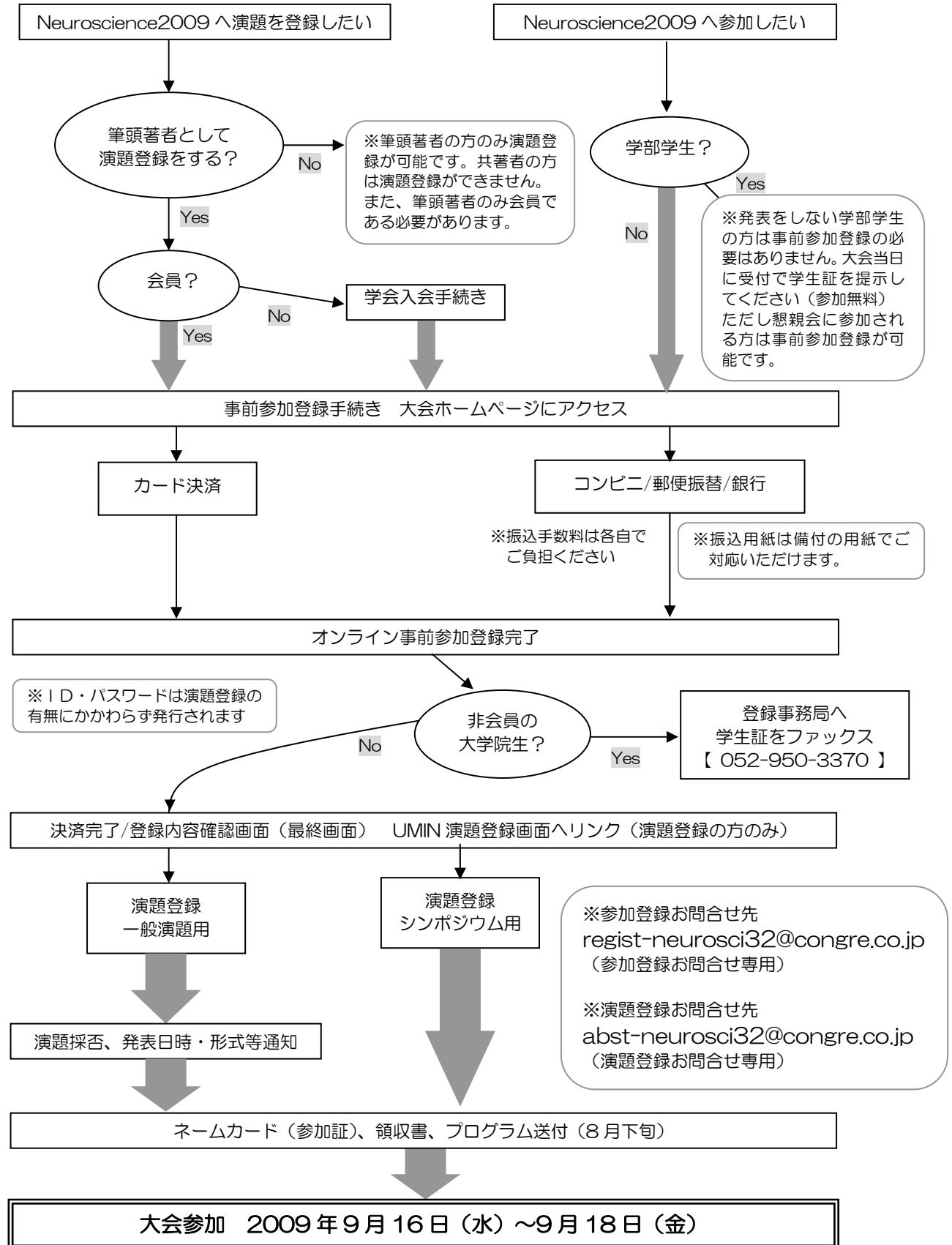
48. Alzheimer's Disease, Other Dementia, Aging (アルツハイマー病、他の認知症、老化)
49. Parkinson's Disease and Related Disorders (パーキンソン病とその類縁疾患)
50. Polyglutamine Diseases, ALS, Other Neurodegenerative Disorder  
(ポリグルタミン病、ALS、その他の神経変性疾患)
51. Neuromuscular Diseases (神経筋疾患)
52. Demyelinating Disorders (脱髄性疾患)
53. Neurotoxicity and Inflammation (中毒と炎症)
54. Epilepsy (てんかん)
55. Schizophrenia (統合失調症)
56. Mood Disorders (気分障害)
57. Addiction and Abuse (依存、乱用)
58. Developmental Disorders (発達障害)
59. Other Psychiatric Disorders (その他の精神障害)
60. Chronic Pain Syndromes and Other Pain Disorders  
(慢性疼痛症候群および他の痛覚異常疾患)
61. Cerebrovascular Disease and Ischemia (脳血管障害と虚血)
62. Trauma (外傷)
63. Neuro-oncology (脳腫瘍)
64. Behavioral Pharmacology (行動薬理)
65. Animal Models (疾患モデル)

## **H. Methodology and Others (方法論、その他)**

66. Imaging (イメージング)
67. Molecular and Cellular Biological Techniques (分子生物学的、細胞生物学的方法)
68. Neuroinformatics (神経情報学)
69. Neuroethics (脳神経倫理)
70. Others (その他)

# 参加・演題手続フローチャート

Neuroscience2009 ホームページ URL  
<http://www.jnss.org/neurosci2009/>



## 第 32 回日本神経科学大会 大会組織

大会長	伊佐 正 (自然科学研究機構 生理学研究所)
実行委員長	井本 敬二 (自然科学研究機構 生理学研究所)
プログラム委員長	小松 英彦 (自然科学研究機構 生理学研究所)
Travel Award 選考委員長	池中 一裕 (自然科学研究機構 生理学研究所)

組織委員	岡田 泰伸	小幡 邦彦	勝木 元也	金澤 一郎
	佐々木和夫	丹治 順	津本 忠治	永津 俊治
	中西 重忠	鍋島 俊隆	西野 仁雄	樋口 輝彦
	堀田 凱樹	松沢 哲郎	御子柴克彦	三品 昌美
	水野 昇	宮下 保司		

実行委員	井本 敬二	大石 高生	小田 洋一	金田 勝幸
	小泉 周	関 和彦	鍋倉 淳一	南部 篤
	畑中 伸彦	宮地 重弘	吉田 正俊	

プログラム委員	飯高 哲也	池中 一裕	今井 啓雄	宇野 洋二
	永福 智志	大西 昇	岡村 康司	尾崎 紀夫
	小野 秀樹	貝淵 弘三	柿木 隆介	川口 泰雄
	川人 光男	久保 義弘	小松 英彦	小松由紀夫
	西条 寿夫	定藤 規弘	佐藤 真	澤田 誠
	澤本 和延	重本 隆一	島田 厚良	鈴木 正昭
	錫村 明生	曾我部正博	祖父江 元	田村 了以
	寺川 進	富永 真琴	中内 茂樹	中村 浩幸
	中山 敦雄	永山 國昭	野田 昌晴	廣瀬 謙造
	深田 正紀	福田 敦夫	藤林 靖久	水村 和枝
	溝口 明	道川 誠	箕越 靖彦	宮川 剛
	宮田 卓樹	宮地 栄一	森 郁恵	森 寿
	柳澤 勝彦	山本 哲朗	山森 哲雄	横山 茂
	脇田 真清			

---

---

## 個人登録確認シート

---

---

学会員番号、参加登録 ID・パスワードおよび UMIN 受付番号・パスワードの管理にお使いく  
ださい。

氏名：

---

所属：

---

日本神経科学学会 会員番号 (10 桁)：

---

登録 ID (第 32 回大会用)：

---

パスワード (第 32 回大会用)：

---

演題受付番号 (UMIN より自動発行)：

---

修正・削除用パスワード (UMIN 上で設定)：

---